

四、八幡市會の態度

二三

1、市會協議會の開催

2、舊社民黨と公新會幹部の會見

3、市會開會―上京委員東上

五、添付書類目次

二六

製鐵所官民合同反對運動

一、反對運動の概要

製鐵所を中心とする製鐵官民合同案が今議會に提出されそうに傳へらるゝや、製鐵所の死活問題は直ちに市の死活問題となる地元八幡市では、昨年未既に市會や労働團體の間に合同反對の態度が見えて新春早々具体化の形勢にあつたが、果して反對の行動は先づ労働團體に依つて起された。

即ち社大黨系（舊社民黨）労働團體の最高幹部伊藤卯四郎外三氏が相携へて一月四日午前十時製鐵所長官に會見し合同案の内容を探りて、合同後の労働條件悪化、失業不安等を豫想し對策を考究するところあり、舊社民系労働組合は同黨八幡支部と共同して對策委員會を設置（一月八日）し統制ある運動を開始すると共に、職工懇談會や職工總代と連絡して全従業員を動かし合同反對の大勢を順致したのである。